



園だより 9月号

2019年9月2日
中野区立ひがしなかの幼稚園
園長 若槻 容子
<http://nk-higasinakano-k.a.la9.jp/>

『質の高い幼児教育を目指して』

園長 若槻 容子

猛暑の夏休みでした。皆様はいかがお過ごしでしたか？園庭のフェンス新設工事は、予想以上に大きな工事となりましたが、子どもたちの安全のためにと暑さの中で作業を進める工事関係者に頭の下がる思いでした。

さて、いよいよ10月より「幼児教育・保育の無償化」が実施されます。（詳細は9月下旬にお知らせを配布いたします）同時に、今まで以上に質の高い幼児教育への期待が高まっています。

質の高い幼児教育とは、幼児期にふさわしい生活の中で、主体的な遊びを通して発達に必要な経験を積み重ねていくことです。幼児は好奇心や探求心をもって遊びながら、発見したり、どうすれば面白くなるのか考えたり、試行錯誤したりします。そして、友達と一緒に工夫したり協力したりする過程で思いを伝え合ったり、新たな考えを広げていったりし、やり遂げた満足感を味わいます。遊びを中心とした活動を通して、子どもたちは様々なことを学んでいるのです。例えば、1学期に5歳児が中心となって進めた「カレーパーティ」。園のみんなで会食するカレーを作るという共通の目的に向けて、ジャガイモの栽培から食材の買い物、調理と多様な経験を積み重ねました。その過程でジャガイモを収穫したときのこと。たくさん収穫できたという嬉しさと共に、「何個掘れたかな？」「みんなで食べる分だけあるかな」と数量への関心が芽生えました。学級のみんで数えるので、なかなか大変。そこである幼児が10個ずつ数えていこうとアイデアを提案すると、仲間はその考えを受け止め、みんなで500個余りのジャガイモを数え上げることができました。カレーを作るための大事な材料を自分たちで数えるという経験は、とても意味のある活動でした。日常の何気ない遊びや生活の中に、数量への関心が引き出される場面はたくさんありますが、幼児期に大事なことは、数えたいという思いや必要感、具体的な物を通して行うということです。こうした直接的な体験を積み重ねることで、自分の生活に意味のあることとして、数量への関心や感覚が育まれます。その経験が、小学校教育の算数や生活科の授業において、実感を伴った理解につながっていきます。質の高い幼児教育とは、決して小学校教育の前倒しではなく、発達に応じた遊びを中心とした活動を通して、幼児の学びを深めていくことです。

暑さも徐々に落ち着き、園庭の稲穂も少しずつ丸みを増しています。今日から2学期。子どもたちがこれまで以上に、個々の力を発揮していくときです。「子どもをまん中にして」の合言葉を思い出し、学びの多い園生活のために様々なご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

きせつのはなし「^{ちょうよう}重陽の節句」

「重陽の節句」ってご存知でしたか？「節句」とは、伝統的な年中行事を行う季節の節目となる日のことですが、そのうちの代表的な5つは「五節句」と呼ばれています。「七草の節句（1月7日）」「ひな祭り（3月3日）」「こどもの日（5月5日）」「七夕（7月7日）」と並び、五節句の最後を締めくくることが9月9日の「重陽の節句」です。

昔から、奇数は縁起の良い数（陽数）と言われ、中でも一番大きな陽数（9）が重なる9月9日を、陽が重なりと書いて「重陽の節句」と定められました。めでたい反面、悪いことにも転じやすいと考えられ、お祝いとともに厄払いも兼ねて、不老長寿や繁栄を願い、行事を行ってきました。寿命を延ばすと信じられていた菊を眺めながら宴を催すことから、「菊の節句」とも呼ばれています。

＜重陽の節句の楽しみ方＞

栗ごはん

秋の味覚として
古くから親しまれてきた
栗を使っています。



菊花茶

キク科の
カモミールを使った
カモミールティーも◎



菊湯





- <3歳児> ○やりたい遊びを見つけて、安心して過ごしながら、幼稚園生活のリズムを取り戻す。
○体を動かす心地よさやみんなと同じ場で動く楽しさを感じる。**

長い休みが明けて、子どもたちは久しぶりの幼稚園を楽しみにする一方で、おうちの人と離れる不安を感じることもあると思います。一人ひとりのペースを見守りながら、1学期に親しんだことをしたり、教師が提示する新しい遊びをやってみたりして、幼稚園で安心して過ごせるようにしていきます。生活面も教師と取り組みながら、幼稚園での生活の仕方を思い出せるように援助します。

また、音楽を聞いて動いたり、教師と一緒に思い切り走ったりして、それぞれが体を動かす心地よさを感じられるようにするとともに、みんなと同じ場で動く楽しさも感じられるようにしていきます。



- <4歳児> ○自分のしたいことにじっくりと取り組んだり、友達と同じ場で過ごしたりして遊ぶことを楽しむ。
○学級のみんなで動くことを楽しみながら、体を動かす心地よさを感じる。**

久しぶりの幼稚園にワクワクと期待したり、ドキドキと不安を感じたりしながら登園することでしょう。一人ひとりの姿を受け止めて、夏休みに体験したことを話したり、1学期に楽しんだ遊びを再現したりしながら、幼稚園での生活のリズムを取り戻していきたいと思います。そして、自分のやりたいことを見つけてじっくりと遊んだり、友達と一緒に動いたりすることを楽しめるように援助していきます。

また、ルールのある遊びやリズム体操など、みんなと一緒に活動することに期待をもって取り組む中で、自分なりの動きを出したり、体を動かしたりする楽しさを感じられるようにしていきます。



- <5歳児> ○自分なりのめあてをもって遊びに組み、自分の力を発揮する心地よさを感じる。
○共通の目的に向けて、学級の友達と力を合わせて一緒に取り組む中で、つながりを感じる。**

夏休みならではの様々な体験をして、心も体を一回り大きく成長したことでしょう。個々に経験し楽しかったことを遊びに生かしたり、自信をもったことで力を発揮できるようにしたりしていきます。

また、様々な動きに挑戦したり、思い切り体を動かしたりする体験を積み重ねながら、運動会につなげていきたいと思います。そして、運動会に向けて学級のみんなで取り組む中で、力を合わせる楽しさや気持ちを合わせる心地よさを味わい、学級の友達とのつながりを感じていけるようにします。さらに、“自分たちの運動会”という気持ちを持ち、ポスター作りや係活動などで力を発揮し、自分たちで進めていく満足感をもてるようにしていきます。